

47 練馬の魅力づくりと練馬ならではの観光の推進

(1) 広報キャンペーンの展開

●広報キャンペーン「よりどりみどり練馬」の実施

27年3月から、みどり豊かな区の魅力を全国に発信する広報キャンペーン「よりどりみどり練馬」を実施している。

29年度は、区の独立70周年を記念し、区内在住の絵本作家のぶみ氏と共に、区民から募集した約300件の“練馬あるある”を元に「I♥練馬あるある」絵本・ムービーを製作した。ムービーは鉄道駅や車内モニター等で放映を行った。絵本は、区の観光案内所や一部書店で販売したほか、原画展を開催するなど、戦略的に広報を展開した。

また、60名以上の区民が「よりどりみどり練馬公式PRサポーター」となり、フェイスブックを活用して区の魅力を発信している。



【広報キャンペーン「よりどりみどり練馬」ポスター】

●練馬区独立70周年記念映像

「みどりの風吹くまちへ」の制作

29年度に独立70周年を迎えたことを記念して制作した。記念コンサートや花火フェスタ、真夏の第九などの記念事業や、四季折々の風景を収録している。この映像を通して、よりどりみどりの区の魅力を発信し、区のイメージアップを図った。

(2) 「練馬ならではの観光」の推進

練馬区は、観光都市のように経済効果を期待できる観光資源が多く存在するわけではない。

しかし、日常の中にきらりと光る特色ある資源や、これまで育まれてきた伝統や文化がある。これらを磨き価値を高めることにより、区民の誇りや愛着につなげていくため、区の魅力を広く発信していく必要がある。

●練馬の魅力を体感できる仕組みづくり

1 観光情報誌「ことりっぷ 練馬さんぽ」の発行

人気旅行ガイドブック「ことりっぷ」とコラボレーションした、観光情報誌「ことりっぷ 練馬さんぽ」を29年11月に発行した。その中で、「ここにしかない美味しさ」「時を忘れるアートめぐり」「自転車でゆったりお出かけ」「とっておきのカフェ」などの視点から練馬の魅力を案内している。

好評を得て、2度にわたって増刷を行い、総計4万部を区内外で配布している。

2 ねりま観光センターの運営

区は、一般社団法人練馬区産業振興公社の「ねりま観光センター」と連携し、事業費等の補助を行い、観光振興事業を展開している。ねりま観光センターが29年度に実施した主な事業は、観光マップの作成・配布、観光情報サイトによる観光情報の発信、アニメ聖地巡礼ツアー等の体験事業、ねり丸グッズの制作・販売などである。また、区内2か所に区が設置した観光案内所の運営を行っており、観光スポットやイベントなどの情報発信のほか、「ねりコレ」等区内名産品の販売を行っている。

(3) 練馬の魅力を感じるイベントづくり

区民や区外からの来場者が参加・交流し、練馬の魅力を実感できる機会を創るため、区の2大まつりである練馬まつり・照姫まつりを開催した。

●第40回練馬まつり

としまえん会場を中心とした出展やステージイベントのほか、練馬産業見本市など、多様なイベントを同時開催した。

- ・主催 練馬まつり推進協議会
- ・開催日 29年10月15日
- ・会場 としまえん
- ・内容 ステージ、各種出店・展示、子ども体験コーナー
- ・来場者 12,500人
- ・その他 以下のイベントを同時開催した。

① としまえん会場：

練馬産業見本市、ねりま・エコスタイルフェア、健康フェスティバル

- ② 練馬駅北口周辺会場(開催日 10月14～15日):
練馬アニメカーニバル、文化事業



〔第40回練馬まつりポスター〕

●第30回照姫まつり

華やかな時代衣装を身にまとった照姫を中心に、勇ましい鎧姿の武者などで構成された約100人の照姫行列を行った。

- ・主 催 照姫まつり推進協議会
- ・開催日 29年4月23日
- ・会 場 都立石神井公園およびその周辺
- ・内 容 照姫行列・出陣式・帰還式、ステージ、出店・展示・子ども体験コーナー
- ・来場者 10万人
- ・その他 鷹狩・鉄砲隊演武、チャンバラ合戦、狂言ワークショップ、甲冑ワークショップ、伝統工芸体験講座、甲冑・和装行列



〔第30回照姫まつりポスター〕

に際しては、自転車レーン等の設置を進めている。

●シェアサイクルの導入に向けた取組

複数のサイクルポート間で貸出し・返却ができるシェアサイクルは、短時間・短距離の移動や来街者の自転車散策に適した公共交通手段として、他自治体での導入が進んでいる。

区でも、29年度から、区内での利用動向、事業の費用対効果、事業の継続性を検証するための社会実験を実施している。

(4) 風を感じるまちづくり

●散策しやすいまちづくり

区では、都市計画道路や生活幹線道路などの新設に当たり、バリアフリー化を図っている。併せて、地域の景観に配慮した緑化、無電柱化、街路灯などの施設整備による道路の質の向上を図り、安全・安心で散策しやすいまちづくりを進めている。

自転車は、区内に散在する地域資源を巡るうえで適した交通手段である。このため、都市計画道路の整備